

感震ブレーカー実態把握調査

(※質問中に指示が無い場合は番号順にご回答ください。)

1 都道府県

2 市区町村（回答者が都道府県の場合は、記入不要です。）

3 担当課

4 連絡先 1（電話番号）

5 連絡先 2（メールアドレス）

6 現在「感震ブレーカー」について、設置等に関する支援事業（購入費補助、取付支援、機器の配布等）を行っていますか。（はいの場合「7」へ、いいえの場合「30」へ）

☐ はい

☐ いいえ

7 支援事業対象地域について（複数回答 可）

☐ 木造住宅密集地域

☐ 津波浸水想定区域

☐ 地域防災計画等により記載のある地域

☐ 制限なし

☐ その他

その他の場合、記入してください。

8 支援事業に対する、申請者の制限について（複数回答 可）

- ☐ 制限は設けていない
- ☐ 町内会・自治会単位での申請
- ☐ 木造戸建て住宅の居住者
- ☐ 複数人での共同申請
- ☐ 高齢者がいる世帯（高齢者のみの世帯を含む。）
- ☐ 障害者手帳所有者がいる世帯（等級は問わない。一人暮らし世帯を含む。）
- ☐ 要介護者がいる世帯（等級は問わない。一人暮らし世帯を含む。）
- ☐ その他

その他の場合、記入してください。

9 支援事業の対象として「分電盤タイプ（内蔵型）」の感震ブレーカーについて支援事業を行っていますか。（はいの場合「10」へ、いいえの場合「13」へ）

- ☐ はい
- ☐ いいえ

分電盤タイプ（内蔵型）について 10 から 12 にご回答ください。

10 支援事業の種類について（複数回答 可）

- ☐ 購入費支援
- ☐ 取付支援（高齢者等が居住する住宅への機器の取付）
- ☐ 工事費補助（設置工事に係る費用補助）
- ☐ 機器の配布（無償配布）
- ☐ その他

その他の場合、記入してください。

11 支援割合について

- ☐ 2分の1
- ☐ 3分の2
- ☐ 4分の3
- ☐ 全額・定額
- ☐ その他

その他の場合、記入してください。

12 支援上限金額について（上限金額（単位 円））

具体の金額を記入してください。

13 支援事業の対象として「分電盤タイプ（後付型）」の感震ブレーカーについて支援事業を行っていますか。（はいの場合「14」へ、いいえの場合「17」へ）

- ☐ はい
- ☐ いいえ

分電盤タイプ（後付型）について 14 から 16 にご回答ください。

14 支援事業の種類について（複数回答 可）

- ☐ 購入費支援
- ☐ 取付支援（高齢者等が居住する住宅への機器の取付）
- ☐ 工事費補助（設置工事に係る費用補助）
- ☐ 機器の配布（無償配布）
- ☐ その他

その他の場合、記入してください。

15 支援割合について

- ☐ 2 分の 1
- ☐ 3 分の 2
- ☐ 4 分の 3
- ☐ 全額・定額
- ☐ その他

その他の場合、記入してください。

16 支援上限金額について（上限金額（単位 円））

具体の金額を記入してください。

17 支援事業の対象として「コンセントタイプ」の感震ブレーカーについて支援事業を行っていますか。（はいの場合「18」へ、いいえの場合「21」へ）

- ☐ はい
- ☐ いいえ

コンセントタイプについて 18 から 20 にご回答ください。

18 支援事業の種類について（複数回答 可）

- ☐ 購入費支援
- ☐ 取付支援（高齢者等が居住する住宅への機器の取付）
- ☐ 工事費補助（設置工事に係る費用補助）
- ☐ 機器の配布（無償配布）
- ☐ その他

その他の場合、記入してください。

19 支援割合について

- ☐ 2 分の 1
- ☐ 3 分の 2
- ☐ 4 分の 3
- ☐ 全額・定額
- ☐ その他

その他の場合、記入してください。

20 支援上限金額について（上限金額（単位 円））

具体の金額を記入してください。

21 支援事業の対象としている「簡易タイプ（ボールタイプ等）」の感震ブレーカーについて
支援事業を行っていますか。

（はいの場合「22」へ、いいえの場合「25」へ）

- ☐ はい
- ☐ いいえ

簡易タイプについて 22 から 24 にご回答ください。

22 支援事業の種類について（複数回答 可）

- ☐ 購入費支援
- ☐ 取付支援（高齢者等が居住する住宅への機器の取付）
- ☐ 工事費補助（設置工事に係る費用補助）
- ☐ 機器の配布（無償配布）
- ☐ その他

その他の場合、記入してください。

23 支援割合について

- ☐ 2 分の 1
☐ 3 分の 2
☐ 4 分の 3
☐ 全額・定額
☐ その他

その他の場合、記入してください。

24 支援上限金額について（上限金額（単位 円））

具体の金額を記入してください。

25 支援事業執行実績（令和 3 年度から令和 5 年度）について年度毎執行件数（単位 件）
をご回答ください。 複数の支援対象がある場合は合算でご回答ください。

26 支援事業執行実績（令和 3 年度から令和 5 年度）について年度毎執行金額（単位 円）
をご回答ください。 複数の支援対象がある場合は合算でご回答ください。

27 支援事業執行予算（令和 6 年度中）について予算額（単位 円）をご回答ください。
複数の支援対象がある場合は合算でご回答ください。

28 支援事業に関連してどのような問い合わせがありましたか。(複数回答 可)

- ☐申請方法
- ☐取付方法
- ☐購入場所
- ☐支援事業内容
- ☐感震ブレーカーについて
- ☐通電火災について
- ☐問い合わせは特になかった
- ☐その他

その他の場合、記入してください。

29 支援事業推進にあたり苦勞した点についてご回答ください。(複数回答 可)

- ☐感震ブレーカーの必要性の周知
- ☐通電火災の危険性の周知
- ☐事業内容の周知
- ☐販売店等の不足
- ☐取付業者等の不足、担い手の確保
- ☐財政困難・予算の確保
- ☐地方公共団体内の人手不足、人員の確保
- ☐特になかった
- ☐その他

その他の場合、記入してください。

30 感震ブレーカーの設置率調査を行ったことがありますか。(はいの場合「31」へ
いいえの場合「33」へ)

- ☐はい
- ☐いいえ

31 感震ブレーカーの設置率(%)についてご回答ください。

32 感震ブレーカーの設置率調査の方法についてご回答ください。

調査時期（令和〇年〇月～〇月）、対象地域、世帯数などを教えてください。

--

33 今後（今年度または来年度以降）、支援事業（購入費支援、取付支援等）を行う予定はありますか。（はいの場合「35」、いいえ・検討中の場合「34」へ）

☐ はい（今年度実施予定）

☐ はい（今年度は実施しないが、来年度以降実施予定）

☐ いいえ

☐ 検討中

34 理由を教えてください。（複数回答 可）

☐ 財政困難

☐ 地方公共団体内の人手不足

☐ 補助を取りまとめる町内会の人手不足

☐ 販売店等の不足

☐ 取付業者等の不足、担い手の確保

☐ 感震ブレーカーの必要性が認知されていない

☐ 通電火災の危険性が周知されていない

☐ その他

その他の場合、記入してください。

35 感震ブレーカーについて普及推進等を目的とする会議等を設置していますか。

☐ はい

☐ いいえ（過去に設置していたことはあるが、現在は設置していない。）

☐ いいえ（過去に設置したことがない。）

☐ 現在検討中

36 感震ブレーカーの設置等に関する項目が地域防災計画に記載されていますか。

☐ はい

☐ いいえ（過去に記載していたことはあるが、現在は記載していない。）

☐ いいえ（過去に記載したことがない。）

☐ 現在検討中

37 感震ブレーカーの設置等について、条例や規則等に規定されていますか。

(はいの場合「38」へ、いいえまたは、現在検討中の場合「39」へ)

☐ はい

☐ いいえ (過去に規定していたことはあるが、現在は規定していない)

☐ いいえ (規定したことがない)

☐ 現在検討中

38 感震ブレーカーの設置等について規定している条例や規則等の名称を記載して下さい。

--

39 現在、普及啓発事業を行っていますか。(はいの場合「40」へ、いいえの場合「43」へ)

☐ はい

☐ いいえ

40 普及啓発内容についてご回答ください。(複数回答 可)

(チラシ等を作成しデータや活動時の写真等がある場合は、通知文記載アドレスへ提供をお願いします。)

☐ チラシ作成・配布

☐ ポスター作成・配布

☐ イベント等での広報活動

☐ セミナーの開催 (説明会、出前講座)

☐ 地元マスメディア (TV・ラジオ、地元紙等)

☐ SNS (YouTube、X 等)

☐ 広報動画作成

☐ ホームページ

☐ その他

その他の場合、記入してください。

41 令和3年度から令和5年度において、感震ブレーカーの普及啓発 (広報活動等) について年度毎執行**金額** (単位 円) をご回答ください。

(※支援事業とは別に普及啓発に係るもののみ計上してください。)

--

42 令和6年度において、感震ブレーカーの普及啓発（広報活動等）について予算額（単位 円）をご回答ください。

（※支援事業とは別に普及啓発に係るもののみ計上してください。）

--

43 感震ブレーカー普及に向けた今後の課題についてご回答ください。

（複数回答 可）

- ☐ 感震ブレーカー認知度の向上
- ☐ 感震ブレーカーの必要性の周知
- ☐ 通電火災に対する注意喚起
- ☐ 支援制度の創設周知
- ☐ 機種により取付ができないものがある
- ☐ どの機種を取付けて良いか分からない
- ☐ 取扱店が少ない
- ☐ 取付が難しい
- ☐ 取付支援のための人手不足
- ☐ 感震ブレーカーを設置することによるリスクの周知（停電、医療機器の停止等）
- ☐ その他

その他の場合、記入してください。

ご協力ありがとうございました。